



会津果樹情報 5月号

☆果樹の生育が9日程度早まっています☆
☆摘果・病害虫防除は計画的に実施してください! ☆



令和6年5月1日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部
(TEL 0242-29-5307)

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 4月以降の気象概況

会津若松市における4月の平均気温は14.3℃(平年比+3.2℃)で、4月の平均気温としては高く、降水量は46.5mm(平年比-22.7mm)と少雨傾向で推移しました。

東北地方の1か月予報(5/2~6/6)によれば、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高い見込みです。

2 発育状況(5/1現在、会津若松市)

りんご「ふじ」の満開は4月26日で平年より9日早く、もも「あかつき」の満開は4月15日で平年より10日早く、おうとう「佐藤錦」の満開は4月24日で平年より3日早くなりました。かき「会津身不柿」の発芽は4月8日で平年より2日早くなりました。

表1 各樹種の発育状況(平年は1986~2023年の平均値)

樹種		りんご	もも	おうとう	かき
品種		ふじ	あかつき	佐藤錦	会津身不知
調査地点		北会津町	神指町	北会津町	門田町
発芽日	本年	3/31	3/25	4/2	4/8(-2)
	昨年	3/24	3/21	3/23	4/2
	平年	4/2	3/28	4/1	4/10
開花日	本年	4/22	4/12	4/18	未
	昨年	4/19	4/5	4/6	5/29
	平年	4/30	4/20	4/22	6/4
満開日	本年	4/26(-9)	4/15(-10)	4/24(-3)	未
	昨年	4/23	4/11	4/12	6/1
	平年	5/5	4/25	4/27	6/8

3 今後の栽培管理

(1) おうとう

ア 摘果

生理落果が起こりやすい「佐藤錦」では、生理落果が終了し果実の肥大差がはっきりしてくる5月下旬頃から、摘果に入るようにしましょう。

(2) もも

ア 予備摘果

摘らいや摘花を実施しなかった場合や摘らい程度が弱く着果数が多い園地は、5月10日頃から予備摘果を実施し、仕上げ摘果は硬核期が始まる6月5日までに済ませましょう。

(3) りんご

ア 予備摘果

結実を確認できる時期（5月10日頃）になったら、1頂芽（1果そう）当たり1果にします。5月下旬までに実施してください。

なお、結実が十分確保されている園地では、摘果作業時間の大幅削減を図るため、摘果剤（NAC水和剤）を散布しましょう。

（4）かき

ア 摘花・摘果

摘らい・摘花は、5月中旬から実施しましょう。

イ 新梢管理

昨年の凍霜害の影響で、5月以降、新梢が多く発生しています。夏季管理で徒長枝や不要な新梢をせん除する場合は、一度にせん除せず、7～9月下旬にかけて3回程度に分けて実施します。

（5）ぶどう

全て5月中に行いましょう！

ア 芽かき

棚より低い位置の新梢は全てかき取ります。また、短梢せん定では生育の良い新梢を1芽座あたり1つずつ残し、それ以外の新梢はかき取ります。

イ 新梢管理

テープナーを使い、主枝延長枝は誘引線に沿ってまっすぐに誘引し、それ以外の新梢は棚線に誘引できるくらいに伸びたら、随時、主枝から垂直に誘引します。

ウ 巻きひげの除去

巻きひげ（図1）は巻きつくと誘引作業の妨げになるだけでなく、晩腐病の発生源になります。巻きつく前に誘引を行いながら除去しましょう。



図1 巻きひげ

エ 簡易雨よけの設置

簡易雨よけ栽培や施設栽培を導入してください（ぶどうに発生する病害の多くは降雨により伝染します！）。

4 各種病害虫対策

（1）樹種共通

生育が平年と比べて8～10日程度早まっていますので、農薬による防除は生育ステージに合わせて遅れずに実施ください。

（2）りんご

ア リンゴ黒星病

最重点防除時期は、展葉期から落花20日頃まで（今年は、5月20日頃まで）です。この期間の薬剤散布間隔が10日以上空きすぎないように注意し、散布ムラのないよう十分な量を散布しましょう。

イ リンゴ褐斑病

本病原菌は主に罹病落葉で越冬し、翌年5～6月に子のう胞子が飛散します。落花直後と落花30日後に本病に効果のある薬剤を散布して初期の感染を抑えましょう。

（3）もも

ア モモせん孔細菌病

春型枝病斑の発生を見つけたら可能な限り基部まで切り戻すなど、徹底的にせん除しましょう。芽や新梢葉に生育不良が見られたら感染を疑い、病斑の有無を確認してください。

イ 灰星病

開花期にまとまった降雨があり、会津を含む県内全域で花腐れ症状（図2）が多く見られています。発生園では、花腐れを発症した枝のせん除及び落花10日後の薬剤防除（ミツバチ引上げ後）を実施してください



せん孔細菌病の春型枝病斑と相違点
・ヤニの噴出
・孢子形成

！！要注意！！
せん孔細菌病と
併発する場合もあり

図2 灰星病の花腐れ症状

(4) かき

ア 落葉病

昨年、落葉病の発生が多かった場合は、開花直前の防除を遅れずに実施してください。また、梅雨期間の薬剤散布間隔が15日以上空かないように、天気予報を見て、晴れ間を狙って散布してください。

イ フジコナカイガラムシ（図3）

管内全域で、平年と比べて発生が多く見られています。発生園では、5月中旬頃までに薬剤防除を実施してください。散布ムラが生じないように、SSはゆっくり走行しましょう。

※7月以降、成虫まで成長すると、薬剤による防除が難しくなるため、5月に必ず防除しましょう。



図3 フジコナカイガラムシ

○近年、農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！

○春の農作業安全運動（令和6年4月1日～5月31日）実施中！

農繁期の4～5月は農作業事故が発生しやすい時期です。特に摘らい・摘果時の落下防止に気をつけましょう！！

令和6年度春のテーマ

「学ぼう！正しい安全知識～機械作業の安全対策と熱中症の予防策～」

○会津若松市でクマの目撃が相次いでいます。朝夕、1人で園地に行かないようにしましょう！

